

第2号様式(第10条関係)

令和 7年 4月 30日

沖縄県議会議長 殿

沖縄県議会議員 糸数 昌洋

令和6年度政務活動費に係る収支報告について

沖縄県政務活動費の交付に関する条例第10条第1項に基づき、別紙のとおり令和6年度政務活動費収支報告書を提出します。



別紙

令和6年度 政務活動費収支報告書

議員名 糸数 昌洋

1 収 入 政務活動費 1,350,000 円

2 支 出

(単位:円)

項 目	支 出 額	備 考
調査研究費	248,136	交通費・宿泊費
研 修 費		
広聴広報費	85,995	広報紙、報告書等作成費
要請陳情等 活 動 費	22,710	交通費・宿泊費
会 議 費		
資料作成費		
資料購入費	76,010	新聞雑誌等購読料
事 務 所 費		
事 務 費	134,755	消耗品 備品購入費
人 件 費		
合 計	567,606	

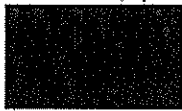
注 備考欄には、主たる支出の内訳を記入する。

3 残 余 782,394 円

統一様式-⑧

視察調査報告書

経費区分	調査研究費			
年 月 日	2024年(R6)8月12(月)～13日(火)			
場 所	久米島町			
相 手 方	①ロートF沖縄・■■■■社長、中村幸雄副町長／②久米島博物館・■■■■学芸員／③久米島じんぶん館・■■■■館長			
目 的	①海洋深層水事業の展開調査、②県指定史跡ちなは城跡崩落調査、③離島留学制度と町営寮の課題調査			
日程概要	月 日(曜日)	時 間	場 所	内 容
	8/12(月)	13:30	海洋深層水ふれあい館 内くめじまーるCafe	ロートF・沖縄が取り組む海洋深層水を活用した事業について
	8/13(火)	9:30	ちなは城跡	大雨で崩落した県指定史跡の現地調査と今後の取組について
	8/13(火)	11:00	久米島町営寮「じんぶん館」	離島留学制度と町営寮じんぶん館の運営について
調査内容	①ロートF・沖縄が取り組む海洋深層水を活用した事業について、地域資源とテクノロジーを組み合わせ、事業者と町が協働して新たな健康産業の創出と離島が自立できる仕組みの構築に取り組む ②県指定史跡ちなは城跡崩落調査について、6月議会一般質問にて、6月の集中豪雨により土台部分が崩落した「県指定史跡である久米島町の伊敷索城跡(ちなはじょうあと)」の早急な復旧を求めたことから、現地視察を行った ③2013年にスタートした久米島高校魅力化プロジェクトの一環で、2014年に始まった離島留学制度の状況と町営寮「じんぶん館」の運営の課題について、館を訪問し視察と館長より説明を受け意見交換を行った			
成果及び所見	①6月議会一般質問にて、県所管の海洋深層水研究所外への分水による産業振興の状況を質問したこともあり、今回のロートF・沖縄が取り組む海洋深層水活用事業を調査した。目薬でお馴染みのロート製薬による久米島町での事業展開を初めて知り、離島活性化に資する事業として今後の展開を注視したい。冷熱農業と藻類農業は深層水のメリットを最大限に活かす農法でもある。更に利活用が広がる深層水の取水拡大が今後の課題である。 ②県指定史跡である伊敷索城跡(ちなはじょうあと)の復旧について、議会質問では明確な答弁が得られなかったことから、学芸員の砂川氏の案内で現地調査と聞き取りを行った。ドローン撮影による立体映像の記録を行うことは決定しており、今後の自然崩落に伴う埋蔵文化財等の緊急発掘調査を行う必要があるかどうか検討を要するとのこと。崩落した部分の復旧については、所管は土木になるがかなり難しい工事になるので見通せない。必要性と可能性双方から、県の所管課と協議していきたい。 ③離島留学制度は毎年10名の定員枠に倍する応募があり、課題は寮の拡充と運営にあることがわかった。拡充については今後の課題として、喫緊を要するのが寮の舎監配置の問題である。開設から10年を迎えるが、町営であることから、県立高校であるにもかかわらず、県による舎監配置が認められておらず、経験のない職員が担当する状況が続いている。教育的見地から議会において舎監配置を強く求めている。			
備 考				



博士 (バイオサイエンス)

株式会社ロート・F・沖縄
〒904-1114 沖縄県うるま市石川郷手前 961-30
Tel: 098-965-3400
くめじまーるCafé
〒901-3104 沖縄県島尻郡久米島町字真謝 500-2
Tel: 098-987-1108
Mobile:
e-mail:



久米島博物館
KUMEJIMA MUSEUM

学芸員

〒901-3121
沖縄県島尻郡久米島町字嘉手苅542番地
TEL: 098-896-7181 FAX: 098-896-7182
E-Mail: @town.kumejima.lg.jp
H P: <http://www.town.kumejima.okinawa.jp/bunkacenter/>

<2024.8.12 視察調査資料> ロート・F・沖縄が取り組む久米島事業について

◎会社概要(ホームページより)

会社名 「株式会社ロート・F・沖縄」

住 所 ●本社 〒904-1114 沖縄県うるま市石川嘉手苅 961-30

●久米島

くめじまーる Café

〒901-3104 沖縄県島尻郡久米島町字真謝 500-7 TEL:098-987-1108

●大阪オフィス

〒541-0042 大阪府大阪市中央区今橋 1-1-3-9F TEL:050-5536-5875

◎久米島事業について(ホームページより)

久米島の豊かな自然を活用した新製品の開発と新しいライフスタイルの実証、提案という2つの軸を同時進行させていくのが私たちの久米島事業です。

きっかけは、久米島町が描いている「久米島モデル」でした。無尽蔵に生まれる海洋深層水を多段階に活用し、エネルギー、水、食を生み出すという世界でも稀有な“自立型コミュニティの実現”に、大きな可能性と共感を覚えています。

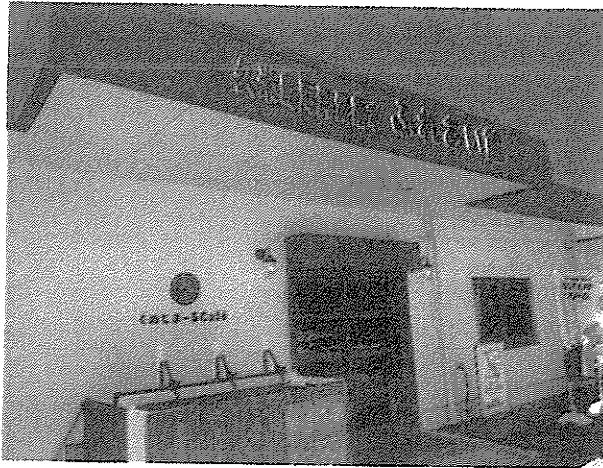
というのも、私たちロート製薬の事業の根幹にある「健康」とは持続可能な社会があってこそ成り立つものだからです。

人々の健康、社会の健康、地球の健康、と“あらゆる健康”という視点から協業することで相乗効果が生まれ、未来への大いなる財産になると考えています。

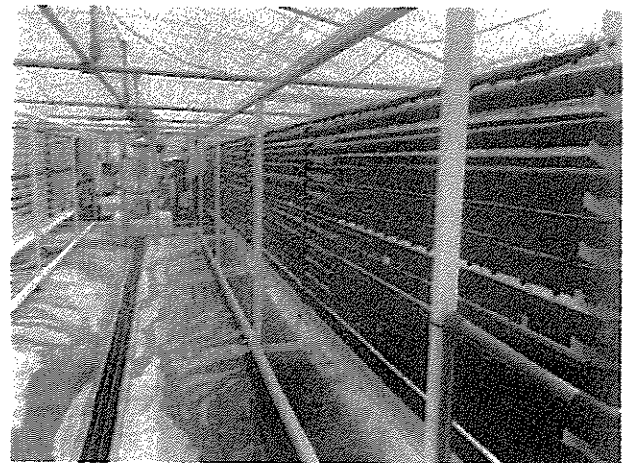
我々の事業では海洋深層水の清浄性、富栄養性を活用し、微細藻類(クロレラやスピルリナ等)由来の機能性食品やスキンケア製品、食など健康・美容に寄与する商品の開発にはじまり、水産養殖、農業、療養サービス等へと拡張していく予定です。

事業を通じて島が自立自走できる仕組みを促進させ、人の健康、社会の健康、地球の健康が持続可能な新しいライフスタイルを提案していきたいと考えています。

視察調査風景①久米島海洋深層水ふれあい館内のくめじまーる Café にて
社長より説明を受ける

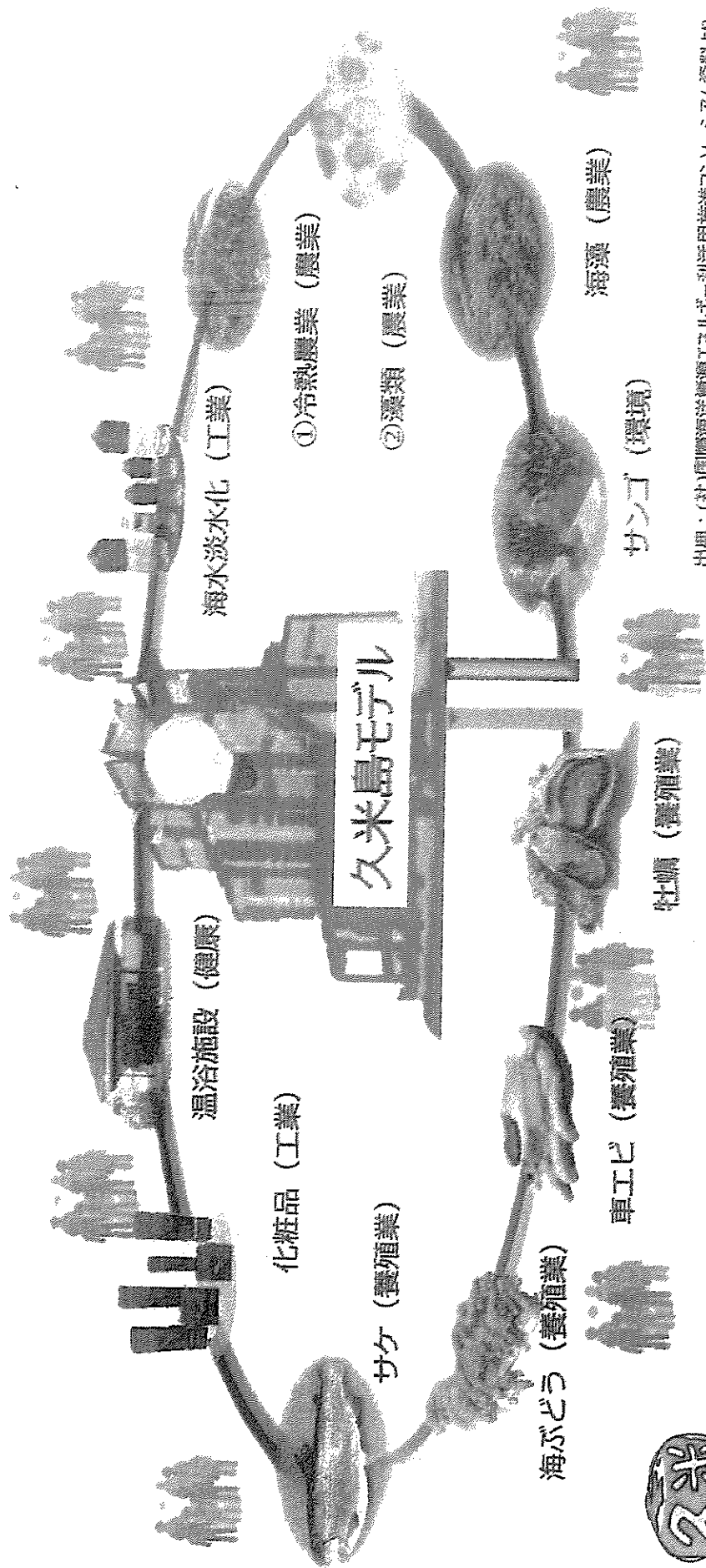


視察調査風景②深層水のパイプの中で育つ微細藻類農業の状況、③深層水の冷却性を活用した葉野菜の冷却農業を視察

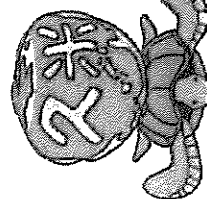


久米島における海洋深層水 利用高度化・大規模化と将来計画

～ 島嶼のエネルギー・食糧・水 自給モデル地域を目指す ～



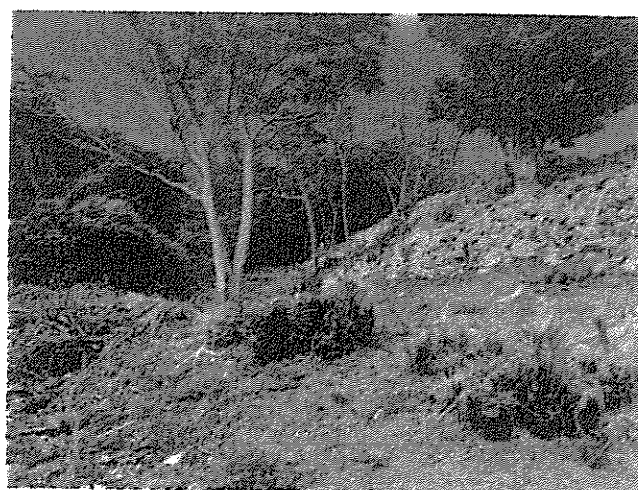
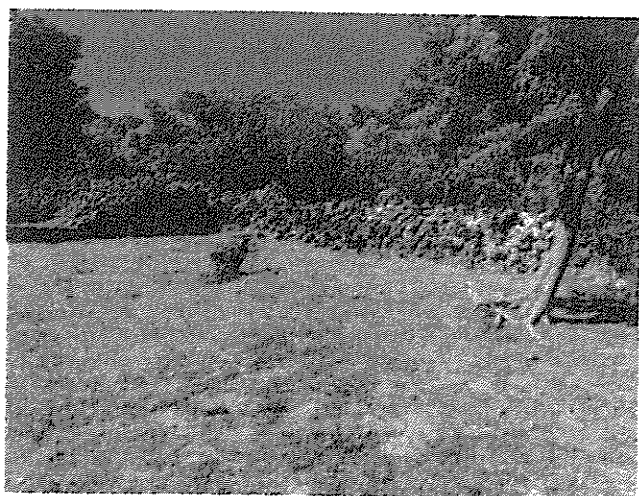
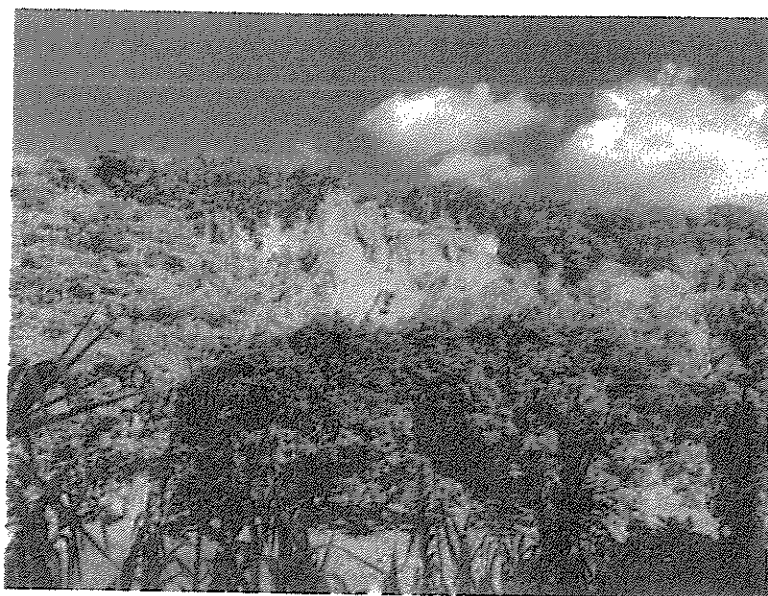
出典：(社)国際海洋資源エネルギー利活用推進コンソーシアム資料より



令和5年11月6日

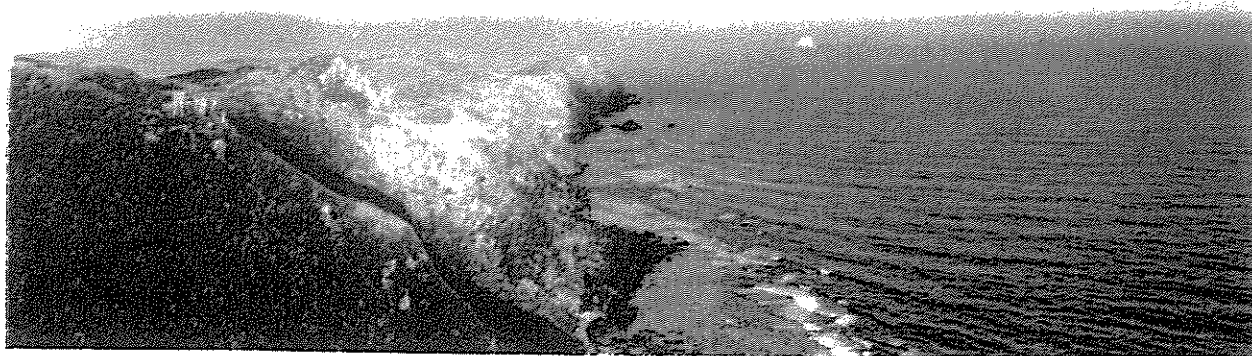
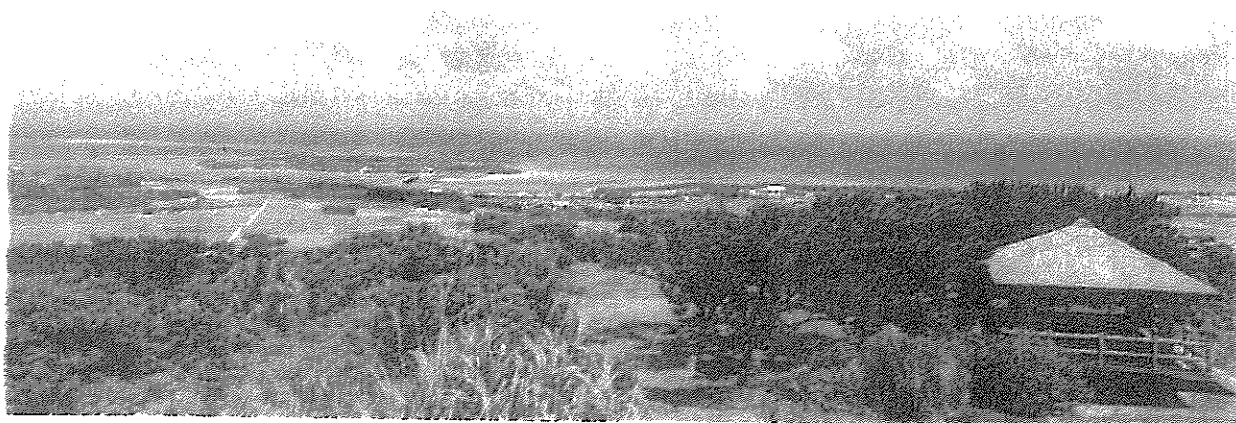
一般社団法人 国際海洋資源エネルギー利活用推進コンソーシアム

2024. 8. 13 県指定史跡「伊敷索(ちなは)城跡」現地調査



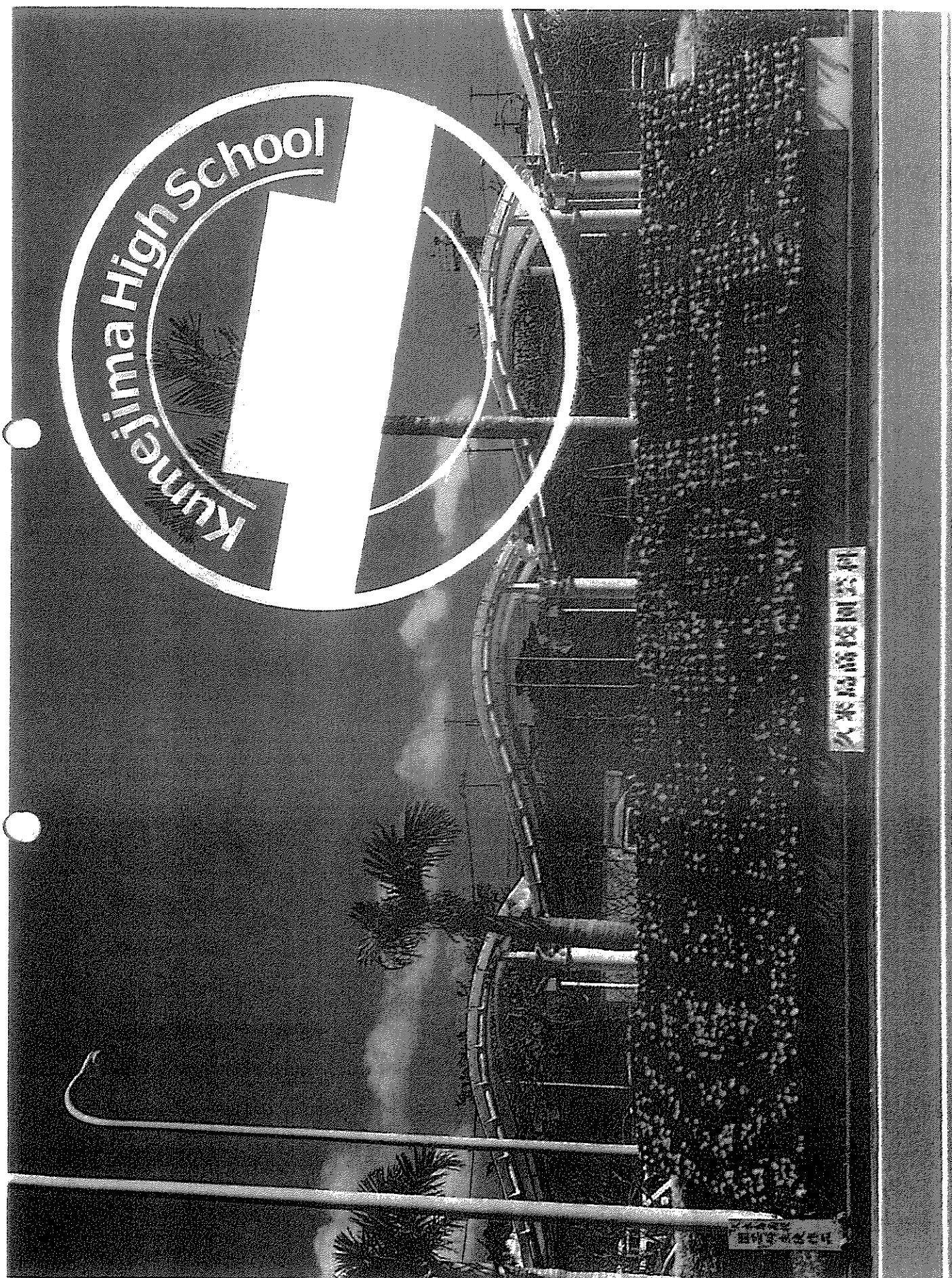
調査研究費

自ら探し、選り、決断する



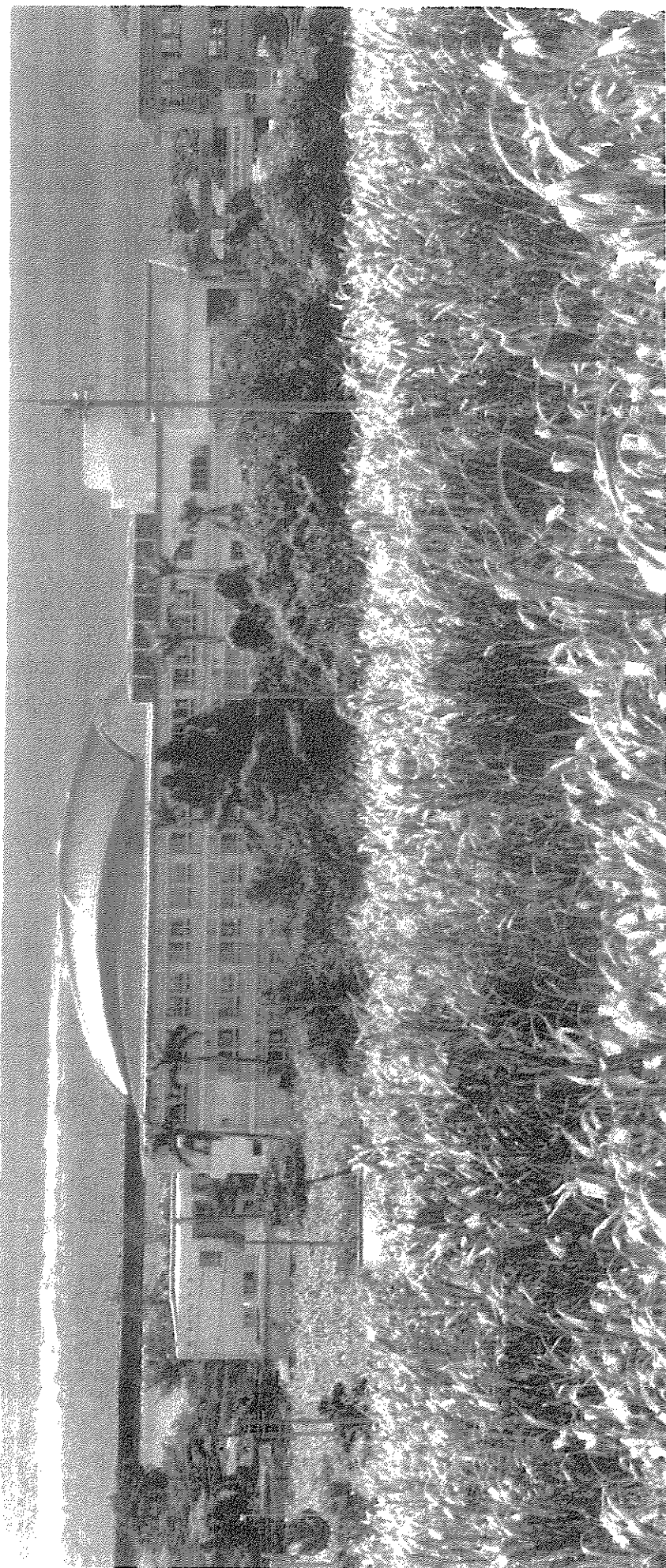
久米島町地域支援交流
学習センター

じんぶん館



※令和5年4月現在

久米島高校魅力化プロジェクトの概要



魅力化プロジェクトが始まったきっかけ

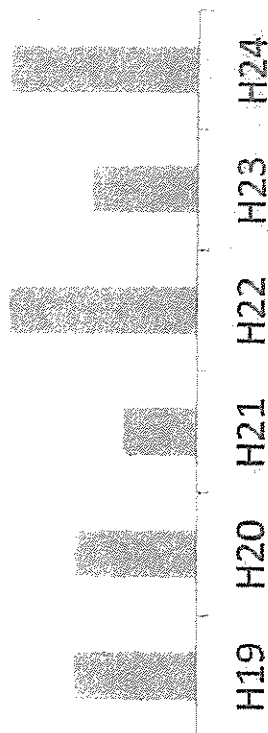
POINT

園芸科の定員割れと島内進学率の低さ

●園芸科の定常的な定員割れ

久米島高校の園芸科は40名定員に対して、その過半数を割ることが増えていた、加えて島内でアンケートを取ったところ、普通科を希望する生徒がほとんどだった。

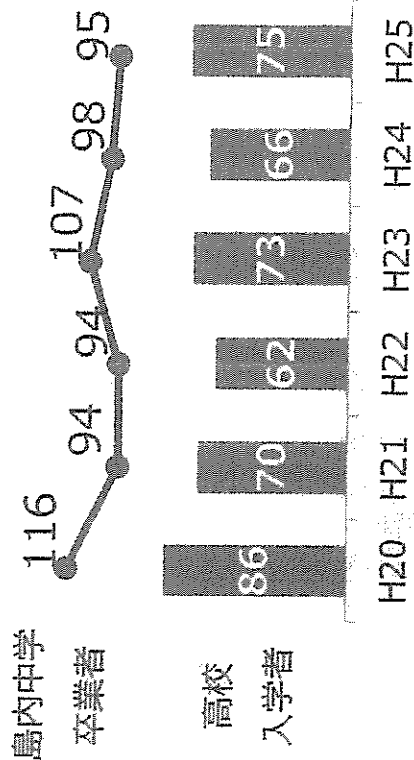
定員40名



入学者数の過半数割れが続く

●島内進学率の低下

久米島には中学校が2つ。その両中学校卒業生の3割程度が久米島高校ではなく、島外の高校を選択していた。進学理由は大学進学や部活など様々。



島内中学卒業生の3割が島外の高校に